



【先週 1月6日～1月12日の外食の出来事】

■豊洲市場のマグロ初競りで、すしざんまいが史上最高 3.3 億円で落札

東京・豊洲市場で1月5日に行われたマグロの初競り。落札された青森県大間産の278キロのマグロには、史上最高値の3億3360万円がついた。競り落としたのは、「すしざんまい」を運営する「喜代村」。

■幸楽苑、4ヶ月連続既存店客数前年比100%以上達成

同社では、昨年4月から「新幸楽苑」戦略とした「味の改革」「マーケティング手法の抜本的転換」「保有資産の活用と店舗ポートフォリオの最適化」「筋肉質な経営」の4本柱を着実に実践してきた。

■うな井「名代 宇奈とと」、タイ出店。香港に続く。

外食向け経営サポートを行うG-FACTORY株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:片平 雅之)が運営する鰻料理専門店「名代 宇奈とと」のタイでのライセンス店舗が2018年12月にオープンした。

■あみやき亭の4～12月、純利益12%減

あみやき亭の2018年4～12月期の連結決算は、純利益が前年同期比12%減の13億円。人手不足に伴う人件費上昇に加え、国産牛肉の仕入れ価格が昨年11月半ば以降に高騰したのが響いた。売上高は1%増の238億円。

■G-FACTORY、「光麺」創業者から飲食事業を買取 ミシュラン店を獲得

G-FACTORY株式会社が、ヘアサロンチェーンを展開するMARIS GROUPの飲食事業子会社、株式会社M.I.Tの全株式を取得して買収すると発表した。1月末で買収が完了する予定。

■マクドナルド、昨年6.9%増収 既存店3年連続増

日本マクドナルドの2018年の既存店売上高は前年比6.9%増だった。前年比でプラスとなるのは3年連続。14年の鶏肉偽装問題などでの大幅な客離れから回復が続いている。今後は成長の継続が課題となりそうだ。

■銚子丸、上半期(H30年5月～11月)の業績 増収増益

銚子丸の平成31年5月期 第2四半期の業績は売上高92億2900万円(対前年同期比3.0%増)、経常利益2億4300万円(同234.0%増)、四半期純利益1億3300万円(同212.5%増)と増収増益を確保した。

■壺番屋、第3四半期(H30年3月～11月)の連結業績 増収減益

壺番屋の平成31年2月期 第3四半期の連結業績は売上高374億2400万円(対前年同期比1.6%増)、経常利益35億5500万円(同6.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益23億2700万円(同7.9%減)であった。

■串カツ田中、12月既存店売上13.7%増 “串カツ100円”10周年イベントで集客

串カツ田中の12月の月次業績は既存店で客数18.4%増、客単価4.0%減で、売上高13.7%増。11月の既存店売上高1.0%減から急浮上。全店では、直営75店舗から100店舗に増え、売上高61.5%増と大幅な伸び。